

春ロボコン 2023

競技フィールド/オブジェクト図面

目次

1. フィールド図面
 - 1.1. フィールド全体図面
 - 1.1.1. ゾーン・エリア説明
 - 1.1.2. 等角投影図
 - 1.1.3. 平面図
2. オブジェクト図
 - 2.1. 「剣」
 - 2.2. 「ハット」

大会公式ホームページ: <https://kantouharurobo.com/haru/>

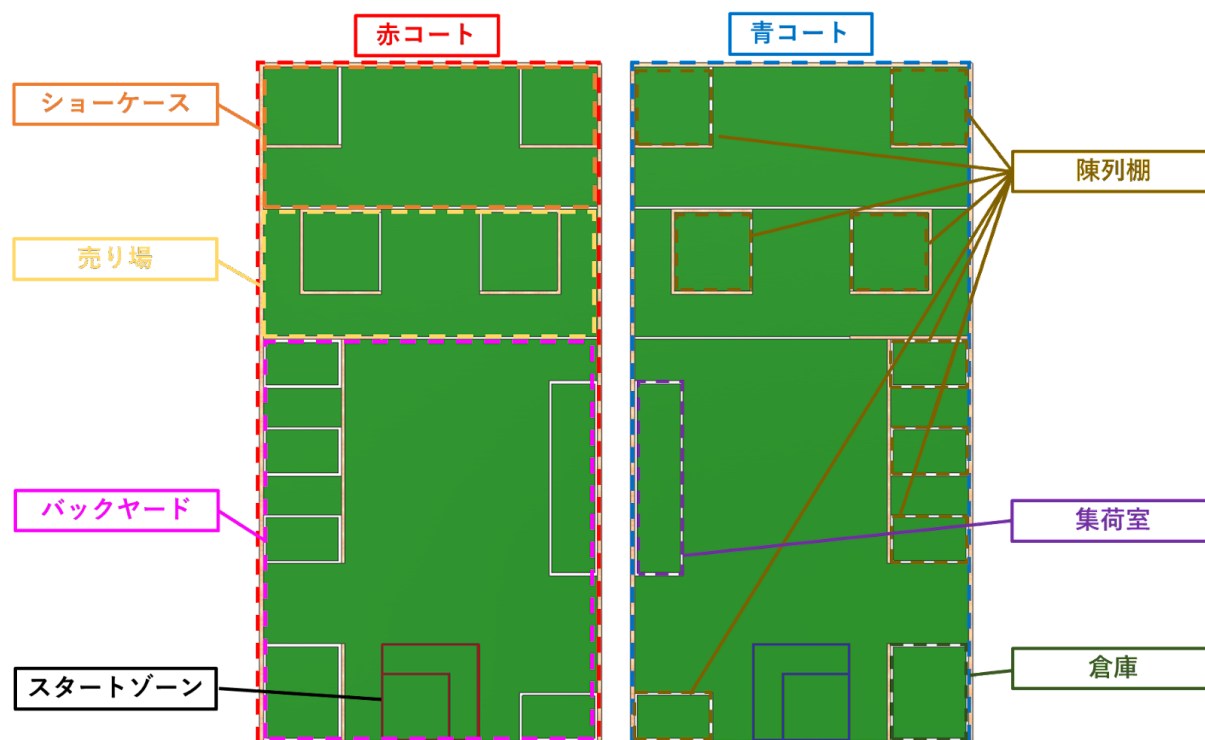
2022年10月10日

2022 月 11 月 10 日

1. フィールド図面

1.1 フィールド全体図面

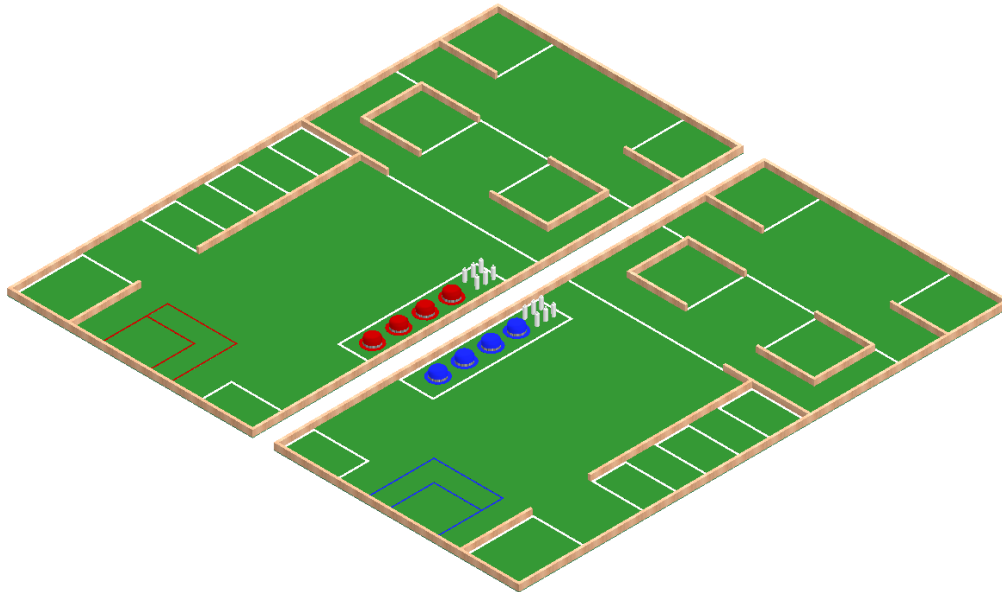
1.1.1 ゾーン・エリア説明



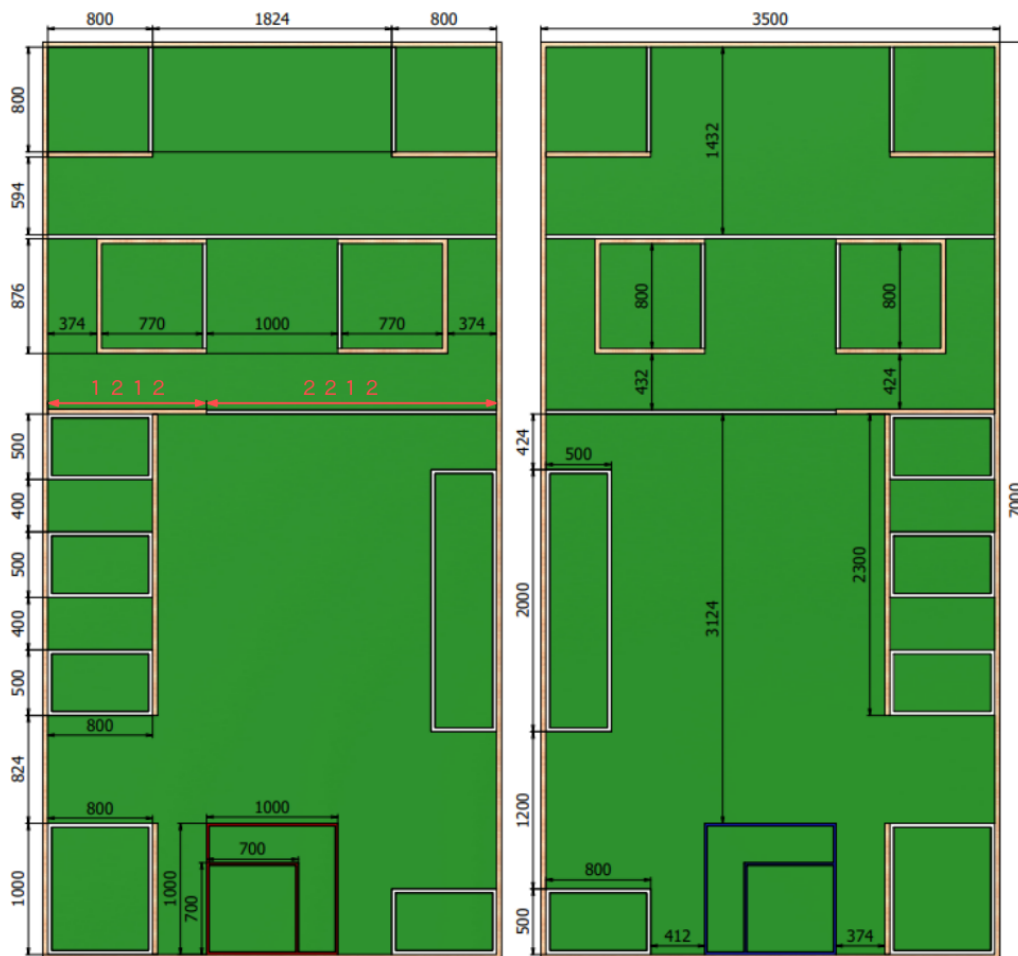
※ 上図の色分けは、エリア・ゾーンの説明のための便宜上の色分けであり、競技フィールドが実際に上図のように色分けされるわけではありません。実際の色は別途「競技フィールド/オブジェクト図面」を参照してください。

ゾーン名（仮称）	説明
スタートゾーン	700mm × 700 mm の正方形です。周囲には各コートの色の、幅 19 mm のビニールテープが貼られます。ビニールテープ上はスタートゾーンに含まれます。
「おもちゃ」	ペットボトル、または帽子状の競技オブジェクトで、試合開始時には自コートの「集荷室」に配置されています。 「おもちゃ」には「剣」と「ハット」の2種類あり、「ハット」は2色あります。赤コートでは赤色、青コートでは青色の「ハット」が使用されます。 各チームがそれぞれ「剣」を6個、「ハット」を4個使用します。
「バックヤード」	スタートゾーンや「集荷室」や「倉庫」、4箇所の「陳列棚」を含む、試合中常にロボットが接地できるエリアです。
「売り場」 「ショーケース」	2箇所の「陳列棚」を含むエリアです。 「陳列タイム」中はロボットが進入できないエリアです。「販売タイム」中は、ロボットが進入・接地することができます。
「集荷室」	試合開始時に「おもちゃ」が配置されるゾーンです。
「陳列棚」	ロボットが「おもちゃ」配置するゾーンです。各フィールドに8箇所の「陳列棚」があります。
「倉庫」	「販売タイム」開始時に、「おもちゃ」は所定の数だけ「倉庫」に配置されています。「販売タイム」が始まると、ロボットはこの「おもちゃ」を「倉庫」から「集荷室」に運び、配置します。

1.1.2 等角投影図



1.1.3 平面図



フィールド寸法

- ※ 図上で細い茶色で示された部分には、幅 38 mm、高さ 89 mm の木枠が配置されます。枠はあまり強く固定できないため、強い力をかけないようにしてください。
- ※ 白線の幅は全て30mmです。白線が交わる部分など、シートが重なる部分があります。
- ※ 赤字部分を追記(2022/11/10)

2. オブジェクト図
2.1 「おもちゃ」
2.1.1 「剣」



「剣」は、「アサヒ飲料 ウィルキンソン タンサン 500mL」(商品ページ：<https://www.asahiinryo.co.jp/wilkinson/sp/lineup/>)を使用します。
ペットボトルの中には200mLの水が入られます。ラベルは剥がして使用します。

2.1.2 「ハット」



「ハット」は、「カラフルハット 赤 青」(商品ページ：[モノタロウ](#))を使用します。
赤コートでは赤色、青コートでは青色の「ハット」を使用します。